



⑧発信する ⑨追究する ⑩粘り強く ⑪つながる ⑫思いや願いを実現しようとする ⑬課題解決する

体験すること・本物にふれることを大切にしたい

校長 許斐 真也

9月上旬に4年生と5年生は宿泊体験学習を実施しました。4年は初めての宿泊ということもあり、余裕のある日程で活動しました。栄区上郷に広がる森で、豊かな自然を散策したり、三浦の海でビーチコーミングをしながら、自然環境の大切さを考えたりしました。5年はさらに総合的な学習の時間などで学んだことをもとに、農園や柴漁港を見学したり、三浦の農家で大根の種を蒔く体験もしたりしました。それぞれの学年が、自然の中で多様な学習に取り組み、学年の仲間と2日間寝食を共にすることで、様々なことを考え、学ぶことができました。ふだん登校から下校までの時間だけを一緒に過ごすのとは違い、まさに主体的に、協働的に体験活動を行うことができました。子どもたちは到着式で「つかれた」と言っていたが、それ以上に「楽しかった」という言葉がたくさん聞かれました。2日間で気づいた自分たちのよさや、さらに伸ばしていきたいことを、学校生活の中で発揮したり身に付けたりしてほしいです。

情報社会において、子どもたちのインターネットなどを通じた擬似的な体験が増え、人やもの、自然などに直接触れる体験活動の機会が減少している傾向にあります。コロナ禍である現在はなおさらです。このような時代であるからこそ、身近な人・もの・こととの直接的なかかわりの中で、身体感覚を伴う多種多様な体験活動の場を設定したり、できるだけ本物に近い形で学習を実施したりしていくことは子どもの成長・発達において、欠かすことができません。それが、実社会への興味や関心を広げるきっかけともなります。本校でも、校外学習で実際の現場を見学したり、学習にその道の専門家などのゲストティーチャーをお招きしたりして、充実した学習を実施しています。1～3年でも9月下旬から本格的な校外学習を実施していきます。学校生活だけでは学べないことを大いに学んでほしいです。

10月7日には前期が終了します。お子さんには前期の「あゆみ」を渡します。観点別の評価はもちろん、文章でお伝えする「所見」をご覧いただき、これまでの頑張りを褒めていただいたり、さらに伸びるための課題について一緒にお話ししてください。よう、よろしくお願ひいたします。